

物理学委員会物理教育分科会（第 26 期・第 6 回）

議事要旨

日時 令和 7 年 3 月 31 日（月）13 時～15 時

会場 オンライン開催

出席者： 新永浩子委員（委員長）、横山広美委員（副委員長）、市川温子委員（世話人）、
藤井良一委員（幹事）、板倉明子委員、中山迅委員、早瀬潤子委員、
藤澤健太委員、渡部潤一委員、笠潤平委員（幹事）
山本文子氏（外部講演者：芝浦工業大学教授）

欠席者： 関口仁子委員

配布資料

資料 1：【議事要旨】物理学委員会物理教育分科会（第 26 期・第 5 回）

議事

（1）前回の議論の確認と報告

第 5 回会合（令和 6 年 12 月 27 日）の議事要旨を確認した。

（2）「夏学」の取組に関する報告と議論

山本文子氏（芝浦工業大学教授）から「女子中高生夏の学校」の 2005 年の第 1 回から昨年までの 20 年間の活動の特徴、参加者の意識、意義等と「夏の学校」から生まれた NPO 法人 Girls' STEM-Career Path Project の活動およびそれらの経験をもとに、今後の女子支援のあり方に関する氏の意見を報告していただいた。その後、質疑応答を含めた議論をおこなった。

（3）今期取り組むべき課題について（シンポジウムに関して）および（4）今後のスケジュール

今後の予定についての議論の前に板倉委員が 3 月 29 日に開かれた物理学会第 15 回物理教育シンポジウムの内容を報告した。

本分科会が開催を計画しているシンポジウムについて、開催時期は 1 月、会場は日本学術会議講堂を候補とし、具体的な内容、講演者、学術会議内の他分野との連携の進め方などについて前回に引き続き意見交換を行った。数学および情報分野との連携のために、新永委員長、市川委員（世話人）が連絡を取ることを確認した。

（5）その他

日本学術会議ホームページ上に掲載する本会合の議事要旨の作成について、委員長に一任することを確認した。